

インターネットの小学校での利用(3)	子どもがホームページを作ることが一番大切	1
スタディ夏の研修会のお知らせ		3
メディアコーディネータ研修会 参加者募集		
筑波大学公開講座 第一報		
ご推薦 こんな本が出ました! 図書館に一冊どうぞ		3
2000年度 ECO News 郵送会員登録について		4
スタディ導入校ホームページご紹介(スタディノートメーリングリストより)		4
クアラルンプール日本人学校		
兵庫県柏原町立崇広小学校		

インターネットの小学校での利用(3) 子どもがホームページを作ることが一番大切

中山 和彦

「学習リンク」作成は、分担・協力して

前号で、インターネットを用いて子どもに資料集めをさせるためには、小学校では、先生があらかじめ「学習リンク」を作っておくことが必要だと記した。

「学習リンク」を作るのは、一人の先生だけでやる必要はない。複数学級のある学校では学年の先生方が協力し、分担して作ればよい。むしろ、その方が望ましい。同じ学校の先生だけでなく、他の学校の先生方とも分担・協力すればよい。

先日、茨城県の研修センターで行われた「インターネットの教育利用」の研修会の際に、各学校が作った「学習リンク」を、県の研修センターへ送り、そこでデータベース化して、共有財産にしたらよいと話をした。ぜひ実現してもらいたいと願っている。

1年生が遠足の下調べ

つくば市の桜南小学校では、1年生がインターネットを使って遠足へ行く前に下調べの学習をした。グループに分かれて、先生が作ってあった「学習リンク」(この場合は、内容は1つだけだけれど)で、遠足の行き先の「すいぞくかん」をクリックして、水族館のホームページを呼出す。そして、掲載されているいろいろな魚や生物の写真を見て、自分たちのグループは水族館へ行ったときに、どの魚(生物)について詳しく調べるかを決めた。そのようにした結

果、遠足に行ったときに、子どもたちは調査の対象にした魚(生物)だけでなく他の魚についても興味をもって観察し、記録を作り、校外授業の成果が大いにあがった。

なぜ、突然にこのような話題がここに飛び出したかということ、学校内の複数のコンピュータから、同時に同じホームページにアクセスした場合のことを考えるためである。まず、学校にはインターネットの回線は1本しかないから、5台のコンピュータが利用しようとする速度は1/5になってしまう。インターネットを使うコンピュータが増えるほど速度は遅くなっていく。水族館のホームページのような画像が中心の、大きな容量をもつホームページの内容を転送してもらうためには時間がかかる。まずテキスト文字だけが送られてきて、画像はその後で送られてくる。そのため、みんなでインターネットを使おうとすると画像が表示されないで終わってしまうこともある。文字だけでは1年生には何の意味もない。画像が送られてくるのをみんながいらいらしながら待たなければならない。子どもたちが待っている時間は、動きのない画面では3秒までだと言われる。それをはるかにオーバーしてしまうために、画像が画面に出てくる前に学習の興味を失ってしまうことになりかねない。

プロキシサーバの必要性

そのようなことをなくすためには、学校にプロキシサーバを導入しておくことが重要である。プロキシサーバは、そこを通してアクセスされた情報を一時的に保持し、同じ情報にそれ以後アクセスする利用者がいた場合、そこに保持されている情報を提供する。そのことによって、相手のホームページまで、情報をとりに行かなくてもすむ。そのため、多数の子どもが同じホームページの同じ情報にアクセスする場合には、非常に効率があがる。というよりは、どうしてもなくてはならない仕組みである。

プロキシサーバは、独立したコンピュータである必要はなく、インターネットに直接つながっているコンピュータに、プロキシサーバのソフトウェアをいれておくだけでよい。このソフトウェアは、公開ソフトとしてだされているものもあるので、それを導入すれば、無償でセットすることができる。

ただ、プロキシサーバをセットするコンピュータは、メモリーが500メガ位、使えるハードディスク容量が数ギガあることが望ましい。これは、先ほどの水族館の例のように、画像の多い大容量な情報に多数のコンピュータが同時にアクセスするような時、水族館全部の情報が入ってしまうような大きなメモリーを持っていれば効率がよく、子どもたちは、瞬時に情報を入手できる。そのためには、授業の準備として、前日に先生が水族館のホームページにアクセスして閲覧をしておくことが大切である。その結果、必要なホームページの内容がプロキシサーバに蓄積され、翌日、子どもは「学習リンク」をクリックすれば、瞬時に画像をみるようになる。

インターネットメールをどう使うか

アメリカのゴア副大統領は、全米の学校にインターネットを接続する理由として、『子どもが専門家と直接に話をするができるから・・・』ということをあげている。子どもが専門家にメールで質問をし、それに答えが返ってくることは可能であり、出来たら素晴らしい。そのため、インターネットを子どもがメールを使っているいろいろな人に手紙を出して教えてもらうのに使うということを強調している人が日本にもいる。

私の所にもスタディノートの掲示板を通じて、「この微生物は何ですか」という顕微鏡写真付きの質問を送ってきた子どもが何人かいた。数が少なかったため、返事をすぐに書くことができた。しかし、毎日何十かのメールが来たら返事をすぐに書くことはとうてい出来ない。結局、全然返事を出さないということになってしまおう。出した子どもは返事の来るのを期待して毎日メールボックスを開いているが、ちっとも返事がこないという事態になってしまう。子どもは期待が裏切られて、ガッカリし、イン

ターネットに対する興味も失せてしまうことになりかねない。

今の子どもが大人になった時には、誰でもお互いにメールで通信するようになるであろう。そのためには、子どもの時からメールのやりとりをする習慣をつけておくことは有利になるかもしれない。しかし、そうだからといって、メールの習慣をつけさせることが大切で、それを学校教育の中で訓練をしなければならないとは思わない。実社会に出て必要なものであれば、やらざるをえず、自然にやるようになるものである。

小学校の中にインターネットでやっておかなければならないのは、メールをどこかへ出して、自分の知りたいことを教えて貰うことではない。インターネットを使って情報を得て、自分で調べ、考える習慣をつけることである。また、情報を貰うだけではなく、自分も他の人に情報を与えること、発信することである。

子どもたちでホームページを作る

子どもたちが、自分たちの持っている情報を広く発信するのに一番よい方法はホームページを作ることである。日本の小学校の1/3位はホームページを作っている。典型的なものは、学校舎の写真、校歌、そして学校の教育方針、学校統計が記されているだけで、学校概要を見ているような感じがする。作成者はもちろん教員で、児童が作ったページが載せられているホームページはほとんどない。学校のホームページは、子どもの作品が載せられていなければ、意味がない。

各学級、学年毎にページを作らせてホームページに載せるようにしたらよい。内容は子どもが自分たちで調べた結果をとりまとめて、報告として出させたらよい。下級生であれば、見つけたものを、例えば「X月Y日 タンポポの花を見つけました。」A月B日 ツバメのとんでいるのを見ました。」などという具合に、デジタルカメラで撮った写真と一緒に載せれば素晴らしいページになり、こうしたことを日本中の学校でやってくれば、立派な生物暦が出来上がる。

「総合的な学習の時間」にふるさと研究をし、その結果をまとめてホームページ上に発表すると、立派な郷土誌が学校の数だけで、広く世界中に発信されることになる。子どもたちは、学校のホームページを通じて他の土地の様子を知り、自分たちの郷土と比較し、いろいろと考え、知識をえることができる。

そのためには、子どもがまとめた文や、写真や絵が、子どもたちの手によって簡単にホームページ化できることが大切である。スタディノートは、その機能も持っている世界に優れたシステムである。

(21世紀教育研究所 所長)

スタディ夏の研修会のお知らせ

その1 メディアコーディネータ研修会 参加者募集

今年もやってきますスタディの夏！ 研修会の夏！！

各地で、学校で研修会を企画、運営される先生、インストラクターとして活躍される予定の先生、本当にご苦労さまです。でも、苦労した割には、成果が上がらない、参加者からの評判もイマイチということにならないために、スタディメディアコーディネータ研修会にぜひご参加下さい。上手な研修会の運営方法についての情報交換やスタディシリーズに関する最新情報を得て今年も元気に夏を乗切り実りの秋を迎えましょう。

- 主催 21世紀教育研究所
 協賛 シャープシステムプロダクト株式会社
 日時 2000年5月27日(土)12時30分 受付 ~ 28日(日)15時
 会場 飯田橋レインボービル (東京都新宿区市谷船河原町11:JR飯田橋西口より徒歩5分)
 シャープ市ヶ谷ビル (東京都新宿区市谷八幡町18 : JR市ヶ谷駅前)
 参加資格 今年度、地域や学校で開催されるスタディ研修会の企画・運営の担当者およびインストラクター
 ター 予定者で21世紀教育研究所が参加を認めた学校・教育委員会・教育研究所等の先生
 参加費 無料
 申込方法 E-mailで下記をご記入の上お申し込み下さい。
 1 メディアコーディネータ研修会参加申込
 2 参加者氏名
 3 E-mailアドレス
 4 所属先およびその郵便番号・住所・電話番号
 5 公費参加 または 自費参加 ()

宛先およびお問い合わせ 21世紀教育研究所 : E-mail : econews@green.ocn.ne.jp

E-mailアドレスのない方は参加をご遠慮ください。 電話 0298-5013330 Tel : 0298-50-3321

一日だけの参加は、原則としてできません。

27日の宿舎はこちらで用意いたします。

27日夕刻情報交換会を行います。

自費で参加される方には交通費を補助いたします。

その2 筑波女子大学公開講座 第一報

スタディノートについて、授業での活用実践の紹介、上手な研修会の開き方、快適に運用できる環境やシステムについてから最新情報まで、まるごとスタディノートの公開講座です。初心者(筑波女子大の公開講座に初めて参加する方)と中級者のクラスに分けて開講します。

日時 2000年8月7日(月)~8日(火)

会場 筑波女子大学

〒305-0031 つくば市吾妻3-1

0298-58-4811 (代表)

0298-58-6352 (余田先生直通)

申込・お問い合わせ スタディノートのホームページ

(<http://www.kasei.ac.jp/eco/ECONews.html>)

研修会のページをご覧ください。

ご推薦

こんな本が出ました！
図書館に一冊どうぞ

余田@筑波女子大学です。

つくば市立並木小学校の毛利靖先生が、赤堀侃司先生(東京工業大学教授)と共著で、次の本を書かれました。

赤堀侃司、毛利靖 著

『みんなで学ぶ総合的学習

報コンピュータネットワーク』

国土社 2600円(税別)

小学生向けの本ですが、いろいろな事例の紹介が、豊富な写真・図とともに載っていますので、インターネットやスタディノートをどのように使っていけばよいか手っ取り早く知りたい先生方にもよい本だと思います。

図書室に一冊どうぞ。

< ECO News 郵送会員のみなさまへ >

**2000年度
ECO News 郵送会員登録について**

ECO News 郵送会員の方で、2000年度も引き続き「ECO News」を印刷物で受け取ることをご希望の方、または、新たに今年から郵送会員をご希望の方は、下記の方法で「2000年度郵送会員登録」をお願い致します。

記

郵送会員の更新または新規登録方法：

「郵送会員登録用紙」に必要事項をご記入の上、年会費として1,000円の郵便小為替**を同封して 21世紀教育研究所へ郵送して下さい。

* 郵送会員登録用紙は、ホームページでご覧の方は最終ページ(5ページ)にあります。郵送の方には同封してあります。

** 郵便小為替は、郵便局で「1000円分の定額小為替を下さい」と言って購入して下さい。

郵送会員には年6回のECO Newsを郵送します。また、21世紀教育研究所で制作するスタディシリーズの試用版CDなども無償で配付いたします。

郵送会員登録用紙および郵便小為替の送付先：

〒305-0045 茨城県つくば市梅園2-33-6

21世紀教育研究所

ECO News 係

0298-50-3321 fax0298-50-3330

E-mail econews@green.ocn.ne.jp

ECO News Web会員

ECO Newsをホームページでご覧頂けます。21世紀教育研究所のホームページのECO Newsのページに「ECO News」をpdfファイルでUPしています。Web会員はそれを画面または印刷してお読みいただくものです。特に手続きは不要です。ECO NewsのホームページにアクセスすればそれだけでWeb会員です。研修会などにもお申し込みいただけます。また、スタディシリーズの試用版などの無償入手方法は、ECO News紙上でお知らせ致します。ホームページから登録コースウェアのダウンロードも順次できるようになりました。

21世紀教育研究所ホームページのアドレス

<http://www.eri21-unet.ocn.ne.jp/>

**スタディシリーズ導入校
ホームページご紹介
(スタディノートメーリングリストから)**

クアラルンプール日本人学校

クアラルンプール日本人学校の根本と申します。

昨年の2学期よりスタディノートを導入し、有効に活用させていただいております。今では、日本から遠く離れた海外に住む本校の子どもたちにとって、スタディノートのネットワーク機能はなくてはならないものになっています。

ところで、今年度(1999年度)、本校はインターネット掲示板を利用して、文部省委嘱の食文化をテーマとした共同プロジェクトを推進してまいりました。その成果をまとめたホームページができましたのでご案内いたします。ご覧いただけたら幸いです。

なお、私事ですが、ホームページ作成は今回が初めての経験です。お見苦しい点や分かりにくいところなど多々あるかと思いますが、そこはご容赦下さい。

<お国じまんホームページ>

<http://www.jskl.edu.my/pages/okunijiman/>

(クアラルンプール日本人学校 根本先生より)

兵庫県柏原町立崇広小学校

ホームページ更新しました。

スタディノートのデータも公開しています。

http://www.hikamigun.kaibara.hyogo.jp/KAIBARA/SOKO/5_3.htm

<http://www.hikamigun.kaibara.hyogo.jp/KAIBARA/SOKO/sekainokuniguni.htm>

(崇広小学校 堀先生より)



ECO News No.66をお届け致します。

この号は、2000年4月号であるにもかかわらず1999年度最終号(!?)です。2000年度の第1号は、No.67号5月発行の予定です。

郵送会員登録を更新される方は、5月20日まで登録用紙と郵便小為替をお送り下さいますようお願いいたします。

21世紀教育研究所

〒305-0045 茨城県つくば市梅園2-33-6

Tel☐0298-50-3321☐☐Fax☐0298-50-3330

e-mail econews@green.ocn.ne.jp

URL <http://www.eri21-unet.ocn.ne.jp/>

ECO News 郵送会員登録用紙

(2000年度用)

印刷物によるECO Newsの送付をご希望の方は、内をご記入の上、1000円分の郵便小為替^{【注1】}を同封して21世紀教育研究所ECO News係へ郵送して下さい。

インターネットのホームページでお読みいただく場合は、登録の必要はありません。

氏名ふりがな		
氏名		
送付先 【注2】	〒 :	
連絡先	Fax :	E-mail :

【注1】郵便小為替は、郵便局で「1000円分の定額小為替を下さい」と言って購入して下さい。

【注2】送付先が学校など勤務先の場合は、学校名(勤務先名)を必ずご記入下さい。

ECO News 係記入欄

受付年月日	
No.	

ECO News
21世紀教育研究所

〒305-0045 茨城県つくば市梅園2-33-6

E-Mail : econews@green.ocn.ne.jp

0298-50-3321 Fax0298-50-3330